

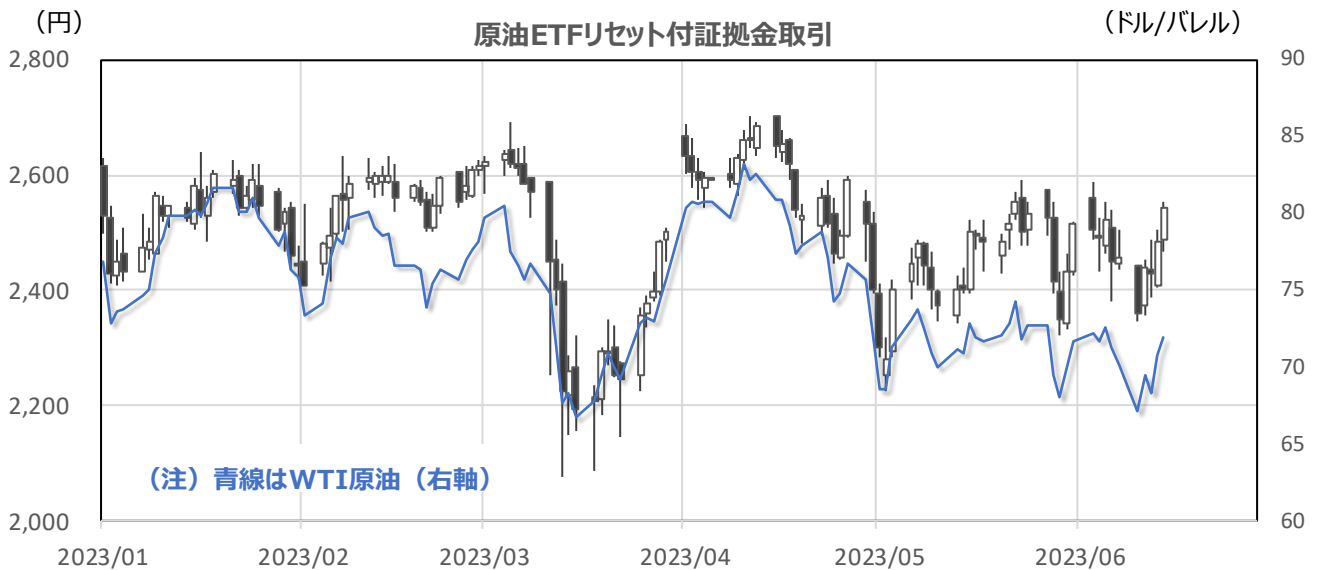
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/06/19号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

急落後に急反発の荒れた展開が続く

NY原油先物相場は、1バレル=66.80ドルまで値下がりして5月4日以来の安値を更新した後、72ドル水準まで切り返す不安定な値動きになった。週明け直後は中国の需要不安、イラン核合意立て直しの可能性などが警戒され、約1か月半ぶりの安値を更新する展開になった。しかし、その後はグローバルなリスクオン環境、中国の景気対策期待、米連邦公開市場委員会（FOMC）後のドル安環境などに支援され、安値からは大きく切り返しており、前週比ではプラスとなった。

中国の5月鉱工業生産、5月小売売上高といった指標では、中国経済の減速傾向が再確認されている。しかし、中国人民銀行（中央銀行）の利下げなど景気刺激策が打ち出されるとの観測もあり、非鉄金属相場などと同様に原油相場も下値を支えられた。また、中国の5月製油所精製量が前年同期比15.4%増と強めの数値になったことも、中国の需要不安を後退させた。結果的に70ドル割れからの値崩れは一時的なものに留まり、ボックス相場が踏襲されている。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（6月9日時点）は、原油が前週比792万バレル増、ガソリンが211万バレル増、石油精製品が212万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

70ドル割れには物色妙味も、ボックス相場を踏襲か

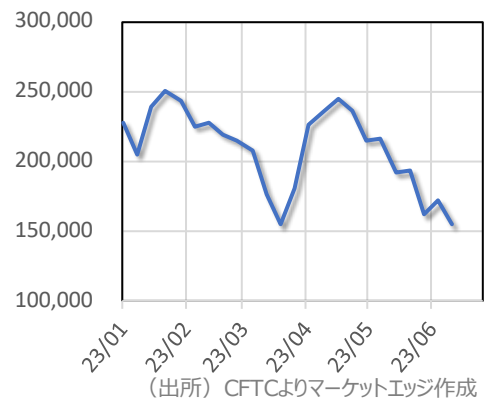
中国の石油需要環境は良好な一方、マクロ経済は減速傾向が強く、原油相場の地合は安定しづらい。70ドル割れでは押し目買いが想定される一方、75ドル水準では調整売りの上値圧迫がみられよう。ボックス相場を前提とした対応になる見通し。

今週は特に注目度の高い経済指標の発表は予定されていないが、中国経済の減速懸念が解消に向かう見通しにはない。一方、中国の石油需要に限定すると、原油輸入量、製油所精製量ともに良好な数値になっており、原油相場の値下がりには支持されていない。実際に、石油輸出国機構（OPEC）と国際エネルギー機関（IEA）月報でも、需要環境は想定以上に良好との報告が目立つ。このため、不安定な値動きが続きやすいものの、70ドル割れは下げ過ぎとの評価が維持されよう。

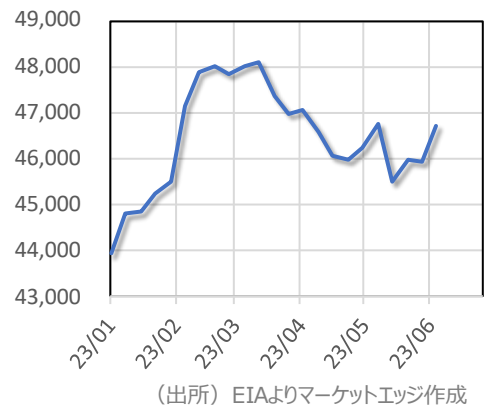
しかし、石油市場では中国経済の減速懸念による上値圧迫が続いており、先高感乏しい。サウジアラビアの減産表明でも75ドル台乗せが精いっぱいだったため、当面はこの75ドル水準が上値抵抗になる。年後半は徐々に需給が引き締まる見通しが強いから、価格リスクとしても上振れし易くなるが、株高やドル安傾向が続いた際に、若干の上振れリスクが認められる程度の地合に留まろう。

イラン核合意の建て直しに向けて、西側諸国とイランとの協議が行われている。イラン側は核開発体制の維持を要求しているため、簡単に合意に達する可能性は低い。ただし、仮に合意期待を高めるような動きがみられると、下振れリスクが高まることには注意が必要だろう。

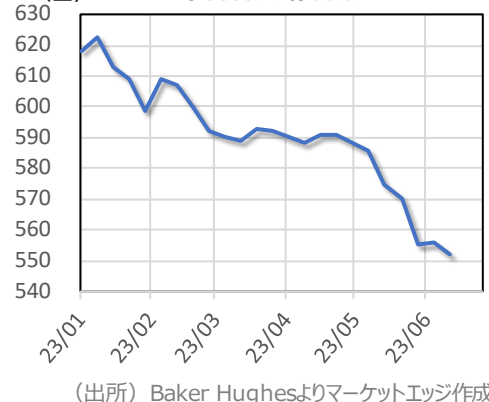
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

